



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

平成29年8月28日発表  
担当課:市長公室 政策調査課

事業の名称等  
政策提言の取組状況について

- 日時: 平成29年9月1日(金)
- 場所: 市報及び市ホームページに掲載
- 事業概要
  - 【事業内容】  
平成29年11月5日をもって、3期目の市長任期が満了するのにあたり、市長が公約として掲げた政策提言について、4年間の取組結果をお知らせします。
  - 【経緯・経過】  
新熊谷市となった平成17年の市長就任以来、政策提言の1年ごとの取組状況を、定例記者会見や市報、市ホームページで毎年公表しています。
  - 【効果】  
市民に情報を公開し、市政に対する関心をより高めていただく効果があります。
- 特徴やPRポイント
  - 施策ごとの達成度を★の数で表すとともに、進捗率と自己評価を発表することで、政策提言全体としての取組状況を詳しくお伝えしています。
- その他

※ 資料の有無(  有 ・  無 )

担当者 関口

連絡先 048-524-1111 (内線369)

# 政策提言の取組結果について

～進捗率 88%、自己評価は 86 点～

平成 29 年 1 月 5 日をもって、3 期目の市長任期が満了するのにあたり、市長が公約として掲げた政策提言について、4 年間の取組結果をお知らせします。

## 【概要】

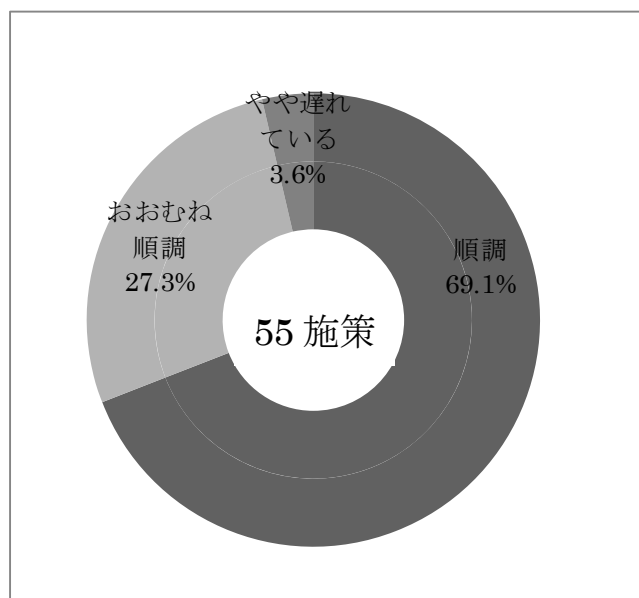
55 施策にわたる政策提言の達成度を、取組状況に基づき次の 4 段階で評価しました。

順 調 (★★★)	3 ポイント
おおむね順調 (★★)	2 ポイント
やや遅れている (★)	1 ポイント
遅れている (－)	0 ポイント

55 施策の評価の内訳は、38 施策が「順調」で 114 ポイント、15 施策が「おおむね順調」で 30 ポイント、2 施策が「やや遅れている」で 2 ポイント、「遅れている」はありませんでした。

これにより、合計ポイントは 146 ポイント（全施策が「順調」の評価で 165 ポイントとなります。）であり、進捗率は 88% となりました。この結果を踏まえた市長の自己評価は 86 点です。

## 政策提言の達成度



達成度	施策数	ポイント	
		割合	ポイント
順調 (★★★) 3 ポイント	38 (28)	69.1% (50.9%)	114 (84)
おおむね順調 (★★) 2 ポイント	15 (22)	27.3% (40.0%)	30 (44)
やや遅れている (★) 1 ポイント	2 (5)	3.6% (9.1%)	2 (5)
遅れている 0 ポイント	0 (0)	0% (0%)	0 (0)
合 計	55	100%	<b>146</b> <b>(133)</b>

※進捗率 88% = 146 ポイント ÷ 165 ポイント

(全 55 施策が「順調」3 ポイントを達成すると合計 165 ポイント)

## 【4年間の主な成果】

### 1 創る

- ・ 秩父鉄道新駅「ソシオ流通センター駅」が平成29年3月31日に竣工したのに併せ、駅周辺のアクセス道路についても供用開始となりました。
- ・ スポーツ・文化村「くまびあ」の宿泊棟の増設や、クラブハウス、駐車場の整備等が完了し、平成29年4月から全ての施設がオープンしました。
- ・ JR東京駅八重洲口にある日本橋プラザビルのイベントスペースにおいて熊谷産農産物のPRや販路拡大を図るため、トップセールスを実施しました。

### 2 育てる

- ・ 地域子育て支援拠点に子供用の身長計及び体重計を備え付け、気軽に子供の成長を確認できる環境を整備しました。10月からは3か所の拠点において子育て支援情報の提供や必要に応じた相談・助言等を行う体制を整備し、さらなる機能強化を図ります。
- ・ こども医療費の窓口無料化を、平成29年1月診療分から市税等に滞納がないことなどを受給資格要件とした上で、対象を高等学校卒業までに拡大しました。
- ・ 不妊治療を行う夫婦への支援については、妻の年齢要件や申請期限を他自治体より拡大し、積極的に少子化対策に取り組んでいます。

### 3 守る

- ・ 暑さから市民の皆さんの健康を守るため、熱中症対策に積極的に取り組んでいます。新たに、中学生への取組を強化した「地域へ発信！中学生（暑さ対策）サポーター事業」や立正大学と連携して熊谷の暑さを分析し、今後の暑さ対策事業に生かす「めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業」等に取り組んでいます。
- ・ エコショップ認定店の店頭で、エコバッグや生ごみ水切りグッズの配布、生ごみ処理機等の普及活動等のごみ減量キャンペーンを実施したほか、大里広域市町村圏組合の事業系一般廃棄物の処理手数料を見直し、負担の適正化を図ったこと等により、平成28年度は年間約3,000tのごみを減らすことができました。

### 4 備える

- ・ 小学校からおおむね半径500メートルの範囲の通学路を対象に、グリーンベルトの整備や転落防止柵の設置を進め、29全ての小学校区で整備が完了しました。引き続き整備範囲を拡大して交通安全対策に取り組んでいきます。
- ・ 防災行政無線をデジタル化することで、登録制メール（メルくま）、フェイスブック、ツイッター、ホームページ及び緊急速報メール等を一括して配信することが可能となり、迅速な情報発信が図られるようになりました。

### 5 進める

- ・ 公共施設（庁舎、学校、公民館、道路、上下水道など）を、市民全体のアセット（資産・財産）として捉え、そのマネジメント（経営・やりくり）を長期的かつ計画的に行っていくための「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」等を策定しました。
- ・ 事務事業の見直しや事業の委託化等により、職員の定員適正化を進めるとともに、地方債の借入を抑制し、平成28年度末の市債残高を24年度末からの4年間で約87億円削減しました。
- ・ ワンストップ総合窓口を開設し、住民異動に伴う複数の申請や届出の一部を一括して手続きできるようにしました。

# 政策提言の取組状況

## 1 創る (★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
1	ラグビーワールドカップ2019の試合会場を熊谷ラグビー場に招致します。	★★★	平成23年にラグビーワールドカップ招致室を設置し、招致委員会を設立して以来、10万人を超える署名を始め、関係者の皆様と一丸となって進めてきた招致活動が結実し、平成27年3月2日に全国12会場の一つとして、熊谷ラグビー場ででの大会開催が決定しました。
2	全国規模のスポーツ大会を誘致し、その運営を支援します。	★★★	さくらマラソン大会や選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップin熊谷」、全国高校選抜ラグビーフットボール大会を継続して実施しました。また、東日本実業団駅伝、ラグビー国際親善試合ワイルドナイツ対ハイランダーズ戦が行われたほか、サッカーJ1リーグ大宮アルディージャ戦などの開催を予定しています。
3	人口増のため、新たに市内に居住する若い世代の住宅新築や購入を税制面から支援します。	★★★	「熊谷市定住人口増加のための固定資産税等の課税免除に関する条例」に基づき平成27年度から課税免除を行っています。制度開始から平成29年8月1日現在の利用世帯数は、639世帯1,966人となっています。
4	北部地域振興交流拠点施設(仮称)の整備を進め、中心市街地のにぎわいをつくります。	★	平成29年2月の埼玉県議会において、5か年計画への掲載削除や予算執行の凍結という審議結果が示され、事業の進捗が見込めない状況です。中心市街地活性化の牽引役となる株式会社まちづくり熊谷は、活動団体のネットワーク化を図るとともに、ふるさと納税の特典品の企画・発送業務のほか、ラグビーワールドカップ2019へ向けたシティドレッシング事業の事務局としてバナーの制作等を行うなど、まちづくりに関する事業を拡大させています。
5	秩父鉄道熊谷駅と持田駅との間に新駅を開設し、新たな都市拠点を整備します。	★★★	秩父鉄道新駅「ソシオ流通センター駅」が平成29年3月31日に竣工し、併せて駅周辺のアクセス道路についても供用開始となりました。また、既成市街地である熊谷流通センター地区(面積 約32.2ha)を平成28年度に市街化区域に編入しました。
6	籠原駅前北口広場を始発駅にふさわしい籠原地区の玄関口として整備します。	★★★	平成28年4月に籠原駅北口駅前広場整備計画を策定しました。駅前広場予定地内の建物移転も完了したことから、平成29年度に籠原駅北口駅前広場の整備工事及び設備工事に着手しました。
7	新たな立地場所を創出し、さらに企業誘致を進めるとともに、市内企業の事業拡大を支援します。	★★★	平成28年4月に改正した「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに10社を指定事業者として指定し、任期4年間の指定事業者数は38社となりました。また、奨励制度、企業立地支援ガイドを事業所の新設や増設を検討している企業や税理士協会会員に配布し、奨励金制度を周知しました。そのほかにも意向調査や企業訪問を行うことで、企業立地に係るニーズの把握を行っています。
8	うちわ祭を始め各種伝統行事や国宝「妻沼聖天山歓喜院聖天堂」に代表される文化財などの地域資源を生かし、観光客を誘致します。	★★	観光情報誌「まっふる熊谷」を宿泊施設や観光客等に配布したほか、妻沼滑空場を舞台としたライダー漫画「ブルーサーマル」のPRに努め、漫画ファンの来熊を促しました。 本市への観光入込客数は、妻沼聖天山の建造物9件が国登録有形文化財に登録されたこと等を受けて、対前年比7.5パーセント増加しました。
9	地産地消推進のための農産物直売所設置への支援や本市に移転する県立農業大学校との連携により、農業経営を応援します。	★★★	産業祭への参加や就農説明会の実施など農業大学校との連携を深めました。また、妻沼地区学校給食への地場産ねぎの定期納入を開始したほか、熊谷学校給食センターへの食材納入に取り組んでいます。

番号	政策提言	達成度	取組状況
10	トップセールスにより熊谷産農産物の販売促進を図ります。	★★	平成29年5月に、JR東京駅八重洲口にある日本橋プラザビルのイベントスペースにおいて、くまがや農業協同組合と協力して、キュウリ、人参、大和芋、コシヒカリなどのトップセールスを実施し、熊谷産農産物のPRや販路の拡大を図りました。
11	池上地区と上之東部地区のほ場整備事業を推進します。	★★	池上地区については平成29年7月に県への土地改良区設立認可申請及び土地改良事業施行認可申請をし、平成29年12月に土地改良区の設立を見込んでいます。上之東部地区については、平成29年4月に県の農業基盤整備基礎調査地区として採択され、現地調査が始まります。
12	良好な農業基盤や豊かな農村環境をつくる地域ぐるみの活動を支援します。	★★★★	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に取り組む44の活動組織が多様な活動に取り組んでいます。活動組織数、取組面積ともに、県内最大規模となっています。
13	幹線第3号線及び第2北大通線を開通させるとともに、主要幹線道路の整備を推進します。	★★	幹線第3号線は平成27年9月、万吉地内の幹線道路は平成29年3月に開通しました。また、第2北大通線と玉井東通線は、用地取得箇所の工事を進めています。
14	上石第一地区の国道17号を拡幅し、整備を推進します。	★★	国道17号の拡幅に向け、拡幅用地確保のため、家屋移転スケジュール等について協議を進めています。また、工事実施に向け、大宮国道事務所と協議を進めるとともに、国における事業化へ向けた計画策定、予算化を依頼しています。
15	北大通線の自転車道等の整備を推進します。	★★★★	県道熊谷館林線から裁判所までの自転車道の整備と熊谷保健センターから県道太田熊谷線までの水路暗渠化が完了し、引き続き歩道設置及び自転車通行帯の設置を行っています。
16	スポーツ・文化村「くまぴあ」の本格稼働のため、2期及び3期工事を進めます。	★★★★	第3期工事である宿泊棟の増設、クラブハウス、駐車場等の外構工事、西側道路の拡幅工事等の整備が完了し、平成29年4月から全施設の供用を開始しました。

2 育てる (★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
17	学力向上対策を推進し、学力日本一を目指します。	★★	くまがやラグビー・オリパラプロジェクト(「総合的な学習の時間」のカリキュラム改善による汎用的能力等の育成)、英語ラウンドシステムの考え方を導入した全教科の授業改善、「学習支援充実くまびスクール事業」を市内全小・中学校で実施など、学力向上に向けた取組を充実させています。
18	こども医療費無料化の対象を高等学校卒業までに拡大するとともに、受益と負担の公平を図ります。	★★★★	平成29年1月診療分から、市税等に滞納がないことなどを受給資格要件とした上で、対象を高等学校卒業までに拡大しました。
19	学校給食について、全校自校式を計画的に進めます。	★	自校式給食調理場について、敷地の確保や学校間の公平性の問題、整備費・運営費等の経費及びアセットマネジメントとの整合性等の課題が明確になったことにより、さらに検討を進めています。
20	小中学校の屋内運動場を順次改築します。	★★★★	子供たちの安全と地域住民の災害時の避難場所の確保のため、耐震診断の結果に基づき、計画的に取り組んできました。平成30年3月末までに残り2校の改築が終了することで、計画した屋内運動場の改築が全て完了します。
21	小中学校の特別教室にエアコンを整備します。	★★★★	子供たちが快適な環境の中で学習に取り組むことができるよう、平成26年度に理科室や音楽室などの特別教室や少人数教室へのエアコン整備を実施しました。
22	幼保連携認定こども園の設置を促進します。	★★★★	幼保連携型認定こども園は、2園となっています。また、認定こども園への移行を条件とする「幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業」を実施する幼稚園4園に対し、補助を行っています。今後、順次認定こども園に移行していく予定です。
23	保育料の減免制度を拡大します。	★★★★	県の制度における多子世帯の保育料軽減や、国の制度における要保護世帯等に係る保育料の特例措置及び多子世帯、非課税世帯における第二子の保育料無料、要保護世帯等の保育料軽減等の特例措置について拡充しているほか、未婚のひとり親世帯への負担も軽減しています。
24	保育所待機児童「ゼロ」を継続します。	★★	平成29年4月1日現在の待機児童数は29人となっています。待機児童が増えた理由として、算出方法が新基準となったことや、入所希望者数が増えたことなどが挙げられますが、施設の受入人数の増加等により、待機児童ゼロに近づく見込みとなっています。
25	地域子育て支援拠点の機能を強化します。	★★★★	子育て中の親子が気軽に集まり、仲間づくりや育児相談・育児情報の提供の場として、市内19箇所の拠点ごとに、工夫した様々な行事等を実施し、地域の子育て家庭に対する育児支援に取り組んでいます。開設日数の増加や、子供用の身長計及び体重計を配布するなど機能の充実に努めました。さらに、10月からは3か所の子育て支援拠点において子育て支援情報の提供や必要に応じた相談や助言等を行う体制を整備します。
26	児童クラブを整備し、その充実を図ります。	★★★★	平成25年11月の就任時に36箇所1,505人定員であった公立の放課後児童クラブは、平成29年9月に44か所(52支援単位)、定員は1,890人になる見込みです。
27	不妊治療費の助成を継続します。	★★★★	助成の対象となる治療の費用から治療区分に応じた基本額を控除した額を、1年度当たり10万円を限度に通算5年度に限り助成しています。助成金の申請期限を治療が終了した日から2年以内とするとともに、助成対象者の年齢制限を設けないなど、他自治体と比較して充実した支援内容となっています。
28	三世帯同居のための新築・増改築を支援します。	★★★★	子・孫世代の転入・定住による人口増を図り、家族の中で三世帯が安心して暮らせるまちを目指し、平成27年7月から親世帯と子世帯が市内で同居又は近居し、住宅を新築・購入や増改築した場合に、その費用の一部を補助しています。制度開始から平成29年7月末までの補助件数は、485件となっています。

### 3 守る

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
29	様々な熱中症対策を実施し、暑さ対策日本一を目指します。	★★★★	暑さから市民の皆様の健康を守るため、市独自の暑さ対策や熱中症対策に積極的に取り組んでいます。まちなかオアシス事業や熱中症予防グッズ配布事業、えんむすび日傘事業、小学校委員会活動支援事業などを継続して実施したほか、「暑さと乾杯！甘くま事業(熊之糎)」、「地域へ発信！中学生(暑さ対策)サポーター事業」にも新たに取り組んでいます。
30	第2次救急病院の運営を支援します。	★★	第2次救急病院の輪番制に対する支援を行うとともに、第2次救急病院の新たな取組等に対する支援制度について検討しています。また、第3次救急病院(救急救命センター)への支援の実施により重篤患者の転送先を確保することで、市内第2次救急病院の負担軽減を図っています。
31	AEDをコンビニに設置します。	★★★★	休日・夜間の救命率の向上を図るため、市内のコンビニエンスストア5社と「コンビニエンスストアへの自動体外式除細動器(AED)設置に係る協定」を締結し、合計60店舗にAEDを設置しています。
32	DVの相談支援センターを設置します。	★★★★	熊谷市配偶者暴力相談支援センター設置後、DV被害者に対する相談業務に加えて、「配偶者からの暴力の被害者の保護等に関する証明書」の発行や保護命令に関する「裁判所提出用書面」の作成などを行っています。また、相談支援センター内に女性相談員の配置を行いました。
33	スポーツにおけるマウスガード着用を支援します。	★★★★	「熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱」により、スポーツにおける歯や口腔内の外傷を予防するマウスガードの作製に要する費用の一部を助成しています。
34	市民の「心」の健康づくりを推進します。	★★	自殺予防ゲートキーパーの養成や、心の健康づくりに係る健康教育を行っています。また、自殺の原因が健康、失業、多重債務等の問題が関係していることが少なくないため、平成26年に設置した庁内連絡会議を、外部の関係機関・団体を加えた「熊谷市自殺予防対策連絡協議会」に刷新し、平成30年度に自殺対策計画を策定することとしています。
35	次世代自動車のための急速充電設備を公共施設に設置するとともに、一般家庭や事業者の充電設備の設置費用を助成します。	★★	商業施設等事業所での急速充電設備の設置に対する補助金制度を策定しました。また、道の駅めぬまに設置した急速充電設備と、江南行政センターに移設した急速充電設備及び普通充電器の運用管理を行いました。
36	低公害軽自動車の軽自動車税に対して助成します。	★★★★	省エネルギー化を推進するため、低公害軽自動車を取得した方に奨励金(軽自動車税相当額)を交付し、低公害・低燃費軽自動車への乗り換えを促進しています。平成25年11月から平成29年6月末までの補助台数は、5,532台でした。
37	3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動を推進し、ごみの減量化を図ります。	★★	エコショップ認定店の店頭でゴミ減量キャンペーンを実施し、資源物の店頭回収、エコバッグや生ゴミ水切りグッズの配布、生ゴミ処理機等の普及活動等を行い、ごみの減量と意識向上の啓発を行いました。また、都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクトに参画し、小型家電リサイクルの推進を図ったほか、衛生センターで搬入物検査を行い適正搬入の徹底を図るとともに、大里広域市町村圏組合の事業系一般廃棄物の処理手数料を見直し、負担の適正化を図ったこと等により、平成28年度は年間約3,000tのごみを減らすことができました。
38	家庭用太陽光発電設備の設置費用の助成を充実します。	★★★★	地球温暖化対策の一環として自然エネルギーの利用推進を図るため、住宅用太陽光発電設備の設置者に対し、1kW当たり2万円として10万円を上限に補助金を交付しています。また、スマートハウスの設置者に対し、50万円の補助金を交付しています。平成25年11月から平成29年6月末までの補助基数は、2,536基でした。
39	合併処理浄化槽の維持管理への助成を継続します。	★★★★	生活環境の保全を目的に、合併処理浄化槽の維持管理を徹底し、生活排水による河川等の水質汚濁を防止するため、家庭用合併処理浄化槽の定期検査等に対する補助制度を設け、清掃許可業者、保守点検業者及び埼玉県浄化槽協会との連携により啓発し、検査実施率の向上に努めています。

## 4 備える

(★★★★「順調」★★「おおむね順調」★「やや遅れている」―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
40	全ての小学校の通学路の交通安全対策を推進します。	★★★★	小学校を中心に、半径約500メートルの範囲の通学路に、グリーンベルトや転落防止柵を設置する交通安全対策事業を継続して実施し、29校全ての整備が完了しました。
41	生活道路及び排水路の整備と安全対策を推進します。	★★★	自治会等からの要望等により、緊急性や必要性を勘案し、平成25年11月から平成29年7月末までに、生活道路108か所(整備延長14,436m)、排水路29か所(同2,715m)の整備のほか、舗装打替や反射鏡、防護柵及び道路照明灯などを設置しました。
42	防犯灯のLED化を促進します。	★★★★	省電力で耐久性に優れたLED化を進めることで、防犯灯の維持管理経費の軽減を図るとともに、犯罪の起こりにくい環境づくりを進めるため、自治会が管理する防犯灯の灯具交換等費用の一部を補助し、同時に市管理防犯灯のLED化も進めています。LED防犯灯の総数は、平成29年7月末現在で15,000灯になりました。
43	防災行政無線をデジタル化し、安心安全に関わる大切な情報の伝達の強化を図ります。	★★★★	平成29年度に防災行政無線のデジタル化整備が完了することで、メール配信サービス(メルくま)、フェイスブック、ツイッター、ホームページ及び緊急速報メール等を一括して配信することが可能となり、迅速な情報発信が図られます。
44	防災士資格の取得費用を助成し防災リーダーを育成するとともに、自主防災組織の結成と活動を支援します。	★★★★	地域の防災力を高めるため、自主防災組織の結成や活動を支援するための補助制度を継続するとともに、自主防災会長を通して防災士の資格取得費用の補助制度の周知を図り、防災リーダーの育成を促進しています。また、防災士へ避難所開設・運営訓練や「カスリーン台風70年」公開講座への参加協力を依頼するなど、連携強化を図りました。自主防災組織率は、平成29年3月末現在で71%、訓練実施数は211件となっています。
45	災害弱者の支援体制の構築に取り組みます。	★★★	災害発生時に迅速な避難支援を行えるよう、自力で避難することが困難な高齢者やお体の不自由な方などを避難行動要支援者として、6,000名を超える方に登録いただいています。登録者数はここ4年間で約2倍となりましたが、今後は、具体的な支援を盛り込んだ個別計画を充実させていく予定です。
46	地域防災に大きな役割を担う消防団の機能を充実します。	★★★★	防火衣は、災害現場での使用により劣化が進むことから、継続的に更新配備しています。荒川分団車庫については、解体工事が8月中旬に完了し、9月上旬から新築工事が開始され、2月下旬に完成予定となっています。
47	災害時の中心的役割を果たす市役所本庁舎の耐震化を実施します。	★★★★	平成28年5月に、全ての耐震化工事が完了しました。
48	耐震性防火水槽を設置し、防災対策を強化します。	★★★	平成29年7月時点での防火水槽設置数528基のうち、耐震性防火水槽は124基となっています。開発行為における帰属により1基増加したほか、今年度予算で、くまびあ敷地内に12月設置完了予定です。



## 5 進める

(★★★★「順調」★★★「おおむね順調」★★「やや遅れている」―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
49	シティセールスを進め、様々な熊谷の魅力をアピールします。	★★★	東京都千代田区有楽町の東京交通会館にある「ふるさと暮らし情報センター」に市のブースを確保し、定住促進パンフレット「熊谷で暮らす」を設置したほか、東京駅近くの移住・交流情報ガーデンにおける埼玉県北部7市町移住交流フェアや、旅行会社や出版社向けの「埼玉トラベルマート」、東京都中央区日本橋での農産物販売イベントにおいて、市の物産や観光資源、定住促進策等を市長が直接PRしました。
50	将来を見据えて、公共施設のアセットマネジメントを進めます。	★★★★	公共施設(庁舎、学校、公民館、道路、上下水道など)を、市民全体のアセット(資産・財産)として捉え、そのマネジメント(経営・やりくり)を長期的かつ計画的に行っていくための「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」等を策定しました。
51	住民票等のコンビニ交付を実施します。	★★★★	平成28年10月11日からコンビニ交付サービスを開始し、平成29年7月末までに1,801通の証明書を交付しました。
52	ワンストップサービス窓口を開設します。	★★★★	平成28年4月から、ワンストップ総合窓口を開設しました。これにより、市民課において、転入、転居、転出、出生等に伴う国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、子ども医療費、児童手当に関する手続きができるようになりました。
53	「はじめての一步」助成金や「熊谷の力」協働事業提案制度を継続し、市民活動を支援します。	★★★★	市民活動の立ち上げや事業の拡大を支援する「はじめての一步」助成金を31事業に交付しました。市民活動団体と市の協働により地域の課題を解決する市民協働「熊谷の力」事業は23事業の提案がありました。また、平成29年4月から市民活動支援センターにて、同センター職員がコーディネーター役として、支援を必要とするNPO等の市民活動団体に対し、支援可能な専門家の情報や、必要に応じて、活動資金の調達の情報を提供するなどの支援を行っています。
54	職員の定員適正化を推進し、人件費を削減します。	★★★★	事務事業や組織の見直し等により、前年度と比較して職員数を13人削減することにより、平成29年4月1日現在の職員総数が1,097人となり、目標値1,100人を達成しました。
55	引き続き市債残高を削減し、健全財政を維持します。	★★★★	地方債の新たな借入を元金償還額以下に抑制し、平成28年度末の市債残高を24年度末から4年間で約87億円削減しました。